

COMMUNICATION LEAFLET

～ 卒業生と大学をつなぐ～



Faculty of Systems Engineering
Wakayama University

Vol.05

□ 学部長より 卒業生の皆さんへ



卒業生の皆さん、さまざまな形で活躍のことと存じます。システム工学部もいっそう改革・改善をすすめています。大学は、色々な面で評価されるようになってきました。国立大学法人の評価には、認証評価(学校教育法により、教育研究等の総合的な状況について、全ての大学が受けることを定められている評価)と業務の実績に関する評価があります。前者の認証評価については、平成19年度に(独)大学評価・学位授与機構による認証評価を受審し、3月27日にその大学評価基準を満たしているとの認定を受けました。今年は、大学評価結果(国立大学法人・大学共同利用機関法人の中期目標期間平成16から19事業年度の業務の実績に関する評価結果)が、3月に新聞に公表されました。評価方法については、賛否両論ありますが、和歌山大学の評価は、国立大学法人86校中、85位という結果でした。システム工学部の評価は、教育・研究ともに「期待される水準にある」ということで、良い評価と言えますが、大学の総合的相対評価は下位になりました。しかし、この国立大学法人の業務の実績に関する評価結果は、高水準の国立大学法人の中での比較であり、オリンピック出場と言えば、惜しくも銅メダルグループだったということです。今後は、期待される水準を大きく超えるように、金、銀レベルに上げるのに、努力していきます。また、卒業生からの支援も期待しています。大学院の新しい取り組みとして、連携大学院の制度を発足いたしました。今年度から、

独立行政法人の産業技術総合研究所と連携大学院の協定を締結いたしました。博士後期課程の学生さんが、産業技術総合研究所において、研究し、博士学位を取得できるものです。また、博士前期課程の学生さんが、研修やインターンシップを産業技術総合研究所で受けることも始めました。是非、この制度も活用ください。また、システム工学研究科の博士後期課程では、社会人入学者も増えています。卒業生で、社会人入学され、博士の学位を授与された方も居られますので、ステップアップを望まれている方は、是非とも挑戦してください。

今年の就職戦線は、超氷河期と言っても過言ではありません。昨年と比較しても、在校生の就職活動は長期化しています。海外シフトで、国内の求人が海外拠点での現地採用に移る傾向があり、国内需要回復と新卒の採用がうまく連動しなくなってきています。皆さんの活躍されている職場へ後輩を導いていただけると大変ありがたいです。秋・冬には、卒業生の皆さんは、OB訪問で大学を多数訪れて頂き、後輩へのリクルートに貢献いただいています。皆さんの職場の周りで求人のお話があれば、大学まで(キャリアサポート室まで)連絡いただけるとありがたいです。

昨年は、システム工学部同窓会を大学祭の日に大学で開催いたしました。今年度も、システム工学部同窓会の会合を大阪・東京・和歌山のいずれかで開催を検討しています。システム工学部同窓会の情報発信WEBページも近々にオープン予定です。卒業生の皆様とシステム工学部のつながりで相互に発展していくように、努力していきますので、ご協力をよろしく、お願い致します。

(システム工学部長 瀧 寛和)

□ システム工学部 同窓会



システム工学部が設立されて15年が経ち、3千名を超える学生が社会に巣立っていきましたが、その中に教員として3名、職員として3名が和歌山大学に就職しています。私たちは母校の発展に努力するとともに、卒業生の皆様と大学との交流の懸け橋の働きもできたらと考えています。

昨年11月21日に、はじめてシステム工学部同窓会・近況報告会を生協GENKI食堂にて行いました。企画の一つとして、かつて教鞭をとられていた先生方に近況報告やメッセージをいただき、掲示しました。特に情報通信システム学科に在籍されていた國枝義敏先生には、お忙

しい中をご出席いただきました。全体で53名の卒業生が参加され、同級生や先生方との久しぶりの再会を楽しみ、食事や歓談の合間に懐かしい思い出に浸っていただきました。学生時代の苦しかったことや達成した喜びを思い出し、今でこそ楽しく、役にたつことだと改めて実感されたのではと思います。

今年度は大学全体としてホームカミング日を11月20日に開催する予定です。詳細は追ってホームページに掲載いたしますので、お時間がございましたら出席されてみてはいかがでしょうか。

▶ <http://www.wakayama-u.ac.jp/homecoming>

(2001年3月卒業 環境システム学科助教 谷口正伸)

■ 学生表彰

システム工学部(研究科)では、2004年より学部長表彰・研究科長表彰制度を設けています。学会発表などの研究活動において高い評価を受けた学生に対して贈られます。学生は、学部長(または研究科長)から表彰状を授与されるとともに、システム工学部A棟エントランスホールに表彰者プレートが掲げられます。この1年間で、新たに42名の学生が表彰され、今年の7月現在で、延べ163名の学生が表彰されています。



■ TOPIC 最近の女子学生支援の取り組みについて



2009年度より、理系の女子・女性の学生生活、進路・就職について応援するため、女子学生支援の取り組みを始めました。年に3回行われる交流会では、新入生歓迎会、ゼミ配属・就職活動、学生生活・進路といったテーマのもと、学生さん同士が直接話すことができる場を設けています。また、座談会を開催し、ゲストに瀧学部長をお迎えして進路や就職に関する意見交換を行いました。今後は、職場見学も検討しておりますので、みなさんがいらっしゃる職場へ訪問させていただくかもしれません。その節はどうぞよろしくお願いいたします。

これらの機会が学科や学年、大学生と社会人といった既存

の枠組みを超え、タテとヨコのつながりをつくるきっかけとなることを願っています。ホームページでも取り組みの様子をご覧いただけるようになっていきますので、よろしければ一度訪ねてみてください。(環境システム学科 宮川智子 准教授)



▶ <http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/career/girls/event.html>

■ 教員異動のお知らせ

昨年7月、大学理事になられていた光メカトロニクス学科の森本吉春教授が退任されました。森本先生は一般社団法人モアレ研究所を設立され、研究を続けておいでです。

この春には、精密物質学科の桶矢成智教授が定年を迎えられました。桶矢先生は今年度も非常勤講師として10月から授業を担当されます。

また、環境システム学科の林田大作准教授が大阪工業大学へ転出されました。

一方、昨年10月には、精密物質学科に尾崎信彦准教授が、この4月には、光メカトロニクス学科に鈴木新講師と菊地邦友助教が、環境システム学科に山本祐吾講師が採用されました。

■ 学科長 あいさつ

研究面では大学院生諸君の研究成果が顕在化し、以下に示すH21年度の学会表彰を獲得しました。

- (1)原正樹君（吉廣研）
情報処理学会ヤングリサーチ賞
- (2)内田英行君（岩崎研）
情報処理学会学生奨励賞
- (3)元木伸宏君（川橋研）
情報処理学会全国大会優秀賞

H22年度教育面での新しい試みとして、教員の負担が増えるのですが、3年前期で研究室への暫定配属を実施しました。何をやるかは研究室により異なりますが、1年後の就職活動に備えて研究に関するコミュニケーション能力を涵養すること、卒業研究へスムーズに移行できるように基礎知識を習得することなどを狙いにしています。

（情報通信システム学科長 齊藤 洋一）

■ 新研究室紹介

■ 葛岡 研究室

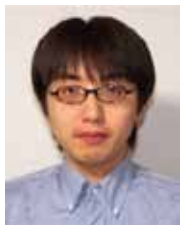


情報通信の数学的な基礎理論である「情報理論」の研究を行っています。現在特に興味を持って取り組んでいるテーマは、多数の送受信者による通信問題です。例えば、多数のセンサーが観測したデータを解析センターに送信する際、

観測データの類似性などを上手に利用すると、通信すべきデータ量を削減して通信を効率化できます。このような通信問題の限界や、その限界を達成する手法について研究しています。

（講師 葛岡 成晃）

■ 坂本 研究室



本研究室では、遠隔地に居る相手の存在感を伝送する「テレプレゼンス」に関する技術や複数人での共同作業をコンピュータを用いて支援する「CSCW」に関する技術を研究しています。テレプレゼンスに関する研究では、自由視点映像

というカメラがない位置から撮影したかのような映像を合成する技術を中心に新しいシステム開発に挑戦しており、CSCWでは、複数人で同時に操作可能なマルチタッチテーブルに関する技術開発に取り組んでいます。

（講師 坂本 竜基）

■ 吉廣 研究室

2009年4月より吉廣研究室が活動を開始しました。吉廣研究室では、これからのネットワーク社会を支えるネットワークの経路制御技術を作ろうという意気込みで研究を進めています。今年は無線マルチホップネットワークの実用化に向けて、実際にノートPCを使って安定した無線ネットワークを構

築するチャレンジ中です。まだ活動開始から2年目ですが、研究室メンバーが一致団結して面白い活動をしていきますよ。

（講師 吉廣 卓哉）



OPTO - 光メカトロニクス学科 MECHATRONICS;

□ 学科長 あいさつ

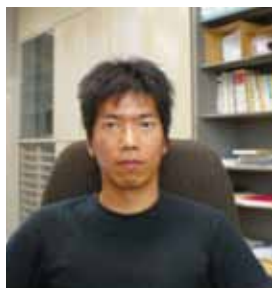


卒業生の皆様には多方面での活躍の由、大変嬉しくまた誇りに思っています。グローバル化が進む中、なお一層様々なことにチャレンジされることを期待しております。またOB・OGによる企業説明会や研究室訪問をしていただき感謝しています。気軽に大学を訪問していただきまし

て、昨今の職場でのリアルタイムの実経験を交えて、是非後輩のご指導をしていただきたく存じます。いつでもお待ちしております。

(光メカトロニクス学科長 八木 栄一)

□ 鈴木新先生より



2010年4月1日より光メカトロニクス学科に勤務しております鈴木です。スマートセンシング研究室に所属し、越本先生、幹先生とともに文字通りスマートなセンシングシステムの研究開発と社会の役に立つ新しいセンシングシステムを考案できるエンジニアを育成すべく学生指導に取り組んでいます。和歌山大学に來

る前は民間企業にて勤務しておりましたので、企業の良い面と悪い面を理解しているつもりです。今後はその企業の良い面をいかして大学の良い面と融合することにより、良い教育、良い研究を実行できるように常に努力と創意工夫を怠らないようにして微力ながら社会貢献をしてきたいと思っています。

□ 菊地邦友先生より



卒業生・修了生の皆様、全国各地で、様々な職場でお元気に活躍のことと存じます。

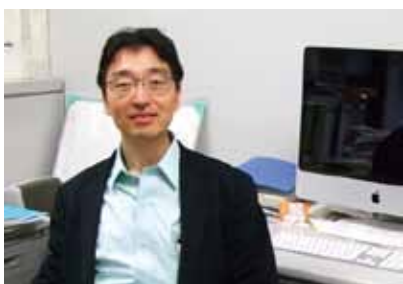
光メカトロニクス学科6期生の菊地と申します。今春、2010年3月に大学院博士後期課程を修了し、この4月よりマイクロ工学研究室（土谷研究室）に助教としてお世話になっております。現在は、高分子アクチュエータの高機能化・マイクロデバイスへの応用に関する研究を行っています。

本年度は新入生ゼミを担当しており、彼らとの年齢差を感じることも多々ありますが、まだまだ彼らに負けないように、日々研究に遊びに奮闘しています。今後は教職員の一員として、学生生活の9年間お世話になった和歌山大学に何らかの形で恩返しできればと思っています。

和歌山にお越しの際は、是非研究室にお立ち寄り下さい。お待ちしております。

MATERIAL SCIENCE AND CHEMISTRY; 精密物質学科

□ 学科長 あいさつ



精密物質学科卒業生の皆様こんにちは。本学科も平成9年にスタートして14年目になりますので、初期の頃に入學し、卒業された方々はすでに社会の中堅として各方面で頑張っておられると存じます。また、最近、社会に出られた方も新しい環境に慣れてだんだん

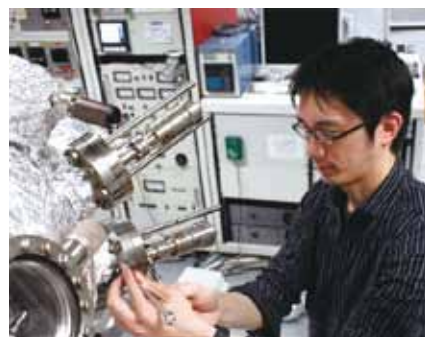
と力を発揮していただけることと期待しています。日々お忙しいこととは思いますが、本学科との交流・連携も忘れずに深めていって下されば幸いです。いろいろな機会にご訪問していただけることを歓迎致します。

(精密物質学科長 田中一郎)

□ 尾崎 信彦 先生 より

2009年10月よりシステム工学部精密物質学科に赴任となりました尾崎信彦と申します。もともとは関西の出身で、大阪大学博士課程修了後、筑波大学で7年半勤めた後、和歌山大学へ参りました。赴任後は実験室の立上げからのスタートでしたが、和歌山のことを何も分からない私を周りのスタッフや学生さん達に本当によくサポートして

いただき、とても感謝しています。最近ようやく研究がスタートできるようになりましたが、これまで私は半導体ナノ構造の作製や物性評価を専門にしてきました。この知識や経験を活かし、今後はナノ構造をより学際的な領域へと応用展開していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



結晶成長装置立ち上げ時の写真

□ 桶矢 成智 先生 より

この3月に39年間勤務した和歌山大学を定年退職しました。教育学部から創設時のシステム工学部に移籍し14年間奉職する中で、数多くの優秀な卒業生を育て上げたと自負しています。卒業生諸君の各界での活躍の様子を見聞するのが楽しみの一つです。在学中

の諸君には勉学に就職活動に一層のふんばりを期待します。10月からは金曜1限に「基礎無機化学」の授業で登校しますので、その際に様子を伺いに参ります。現在は理科教育のボランティア活動を志し、また趣味の音楽や読書三昧の毎日です。



ENVIRONMENTAL SYSTEMS; 環境システム学科

□ 学科長 あいさつ

本学科も開設15年目の節目を迎えて、この3月には第11期生として4年生62人が、院生31人が無事に社会に巣立ち、卒業生総数は約750人になりました。創設期の卒業生は、すでに各職場の中堅として日々忙しく活躍されていることでしょう。

また昨年はシステム工学部の第一回同窓会・近況報告会が開催され、学科の枠を超えた卒業生の皆さんが、全国各地の様々な職場で連携することが期待されています。

教員の異動では、林田大作准教授が大阪工業大学に転出され、新たに山本祐吾講師が着任されました。また学科創設に寄与された日下正基教授が来年3月で定年退職される予定です。学科も教員も少しずつ変化していますが、卒業

生の皆さんは、青春時代の1ページを刻んだ場として、今後ともぜひ大学に気軽にお立ち寄りください。

(環境システム学科長 足立啓)



□ 学科活動 新入生オリエンテーション

今年も、4月22日に、新入生オリエンテーションを行いました。雨天だったため、少し予定を変更して和歌浦ではバスの車窓から紀州東照宮を見学し、不老橋では少し散策をしました。和歌山城周辺では県立博物館と県立近代美術館にて見学を行いました。県立博物館では学芸員の方から、和歌山県は全国で6

番目に国宝が多く、国宝や自然遺産に恵まれているといったお話を伺うことができました。原始・古代から現代に至るまでの歴史について展示物を通して学ぶことができ、歴史の奥深さと多様性について、また、和歌山大学とこれらの見所の位置関係についてさらに知る機会となったのではないのでしょうか。



県立博物館にて学芸員さんの説明を聞いている様子

□ 新任教員の紹介



■ 原 祐二 先生

昨年4月、本学科に着任いたしました。地形や植生などのフィールド調査、住民の方々のお考えを拾い上げる社会調査、室内での地理情報解析を併用し、よりよい緑地環境を追求する教育・研究活動を進めていきたいと思っています。



■ 山本 祐吾 先生

本年4月、本学科に着任いたしました。実社会での環境対応の実践現場と接しながら、都市や地域、産業システムの環境共生マネジメントに関する教育・研究に取り組んでいきたいと思っています。ご卒業生の皆様と現役学生との共同、共学、共考の場づくりにお力添えいただけましたら幸いです。

DESIGN AND INFORMATION SCIENCES; デザイン情報 学科

□ 学科長 あいさつ



昨今の厳しい就職情勢を踏まえて、今年度は前年の10月から学科の就職説明会のキックオフを、11月・12月・5月と談話会を順次開催させていただきました。卒業生の皆さんには、自らの就職活動体験や社会人としての企業経験を詳しく披露していただき、不安を抱(かか)える後輩たちにとって力強い励ましとなったようです。おかげさまで、デザイン情報学科

に焦点を絞ったような求人も増えてきています。これはひとえに皆様方のご協力の賜物だと考えております。ありがとうございました。

社会人として忙しい毎日をお送りのこととお察ししますが、「忙中閑あり」休日の午後は栄谷のほうへもご足労いただければ幸いです。いつでも皆様方をお待ちしております。

(デザイン情報学科長 島田哲夫)

□ 学科活動 学部長表彰

2010年1月21日(木)～22日(金)に、情報処理学会グループウェアとネットワークサービス研究会において、4年の山中崇規君が「おしゃべり鉢べえ：他者の存在を感じさせる鉢植え型会話ポットシステム」という研究題目で、優秀発表賞を受賞しました。また、

2010年3月9日(火)～11日(木)に、情報処理学会第72回全国大会において、4年の田呂丸智史君が「音声記録を用いたアイデア共有システムメモラソンの開発」という研究題目で、学生奨励賞を受賞しました。これにより、両名は学部長表彰の栄誉に浴しました。



発表中の様子(山中崇規君)

□ 学科事務からのおたより

卒業生の皆様、こんにちは。

2007年より学科事務を務めさせて頂いております天野と申します。2007年度以降の卒業生の皆さま、覚えていらっしゃいますでしょうか？1階に事務室があったため、皆さまに接する機会もあまりなく記憶に無い方も多いかもしれません。日ごろは学科のサポート役として、学科に関するいろいろな仕事に励んでおります。その中でも一番学生さんが関係する作業に、就職に関する仕事があります。4年間勉学に励んできた学生にとって、一番の山場となるものであると思いますが、そんな学生さんの就職活動の選択肢が少しでも広がればと思いつつ、学科へ届く求人への入力や更新、推薦書の発行補助などを行っています。そして、それを通して真摯に就職活動に打ち込む学生の姿を見てるとこちら身引き締まる思いでいっぱいになります。

毎年活気に満ちた学生さんが入学してくる4月は、年々自分の学生時代を懐かしく思うようになってきました。時が経つのは早いものです。

また、3月には、就職活動を終えて卒業していく学生さんを見て、社会人として頑張ってもらいたいと切に願います。お時間があれば皆さまが貴重なお時間を過ごしたこの大学に、ぜひ遊びに来て頂きたいです。懐かしい思い出がよみがえってくるかもしれません。皆さまのお越しをお待ちしております。



なつかしい教務窓口と証明書発行機

平成21年度 就職先

■ 学部就職先

(株)RKKコンピューターサービス (株)アクシオ 旭化成ホームズ(株) 芦屋市安全索道(株) (株)出雲村田製作所 (株)イトーキ (株)イムラ (株)インタークエスト エアーニッポン(株) エスアイソリューションズ(株) エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本(株) (株)エヌ・ティ・ティ・データ関西 (株)エヌ・ティ・ティ・データ三洋システム (株)エム・イー・エス由良 尾池工業(株) 大阪国税局 (株)大林組 (株)オービック 貝塚市 外務省 笠野興産(株) カナテック(株) 川崎重工業(株) 川本工業(株) 岸和田市 紀の里農業協同組合 本本産業(株) キヤノン(株) 紀陽情報システム(株) 京セラミタ(株) 京都府 (株)紀陽ホールディングス グローブライド(株) (株)京阪ステーションマネジメント 公成建設(株) (株)鴻池組 (株)コムラテック 櫻井工業(株) (株)三光マーケティングフーズ (株)三宝化学研究所 (株)サンモアテック (株)ジェイアール東海ツアーズ 四国化成工業(株) (株)四国日立情報システムズ (株)島精機製作所 島津メディカルシステムズ(株) ジャパンマテックス(株) 新別府病院 スターバックスコーヒージャパン(株) 住友不動産リフォーム(株) 清和肥料工業(株) (株)セブン-イレブン・ジャパン 総合警備保障(株) 曾禰神社 (有)大志 ダイダン(株) ダイハツ工業(株) 大和ハウス工業(株) 竹島鉄工建設(株) (株)立花エレテック TIS(株) 東海旅客鉄道(株) 東洋検査工業(株) (株)東和システム (株)ナイキ 中野BC(株) 中村伸吾建築設計室 (有)西村造園 (株)ニチイ学館 日本生命保険相互会社 日本電産(株) (財)日本老人福祉財団 パナソニックAVCテクノロジー(株) パナソニック電工リビング近畿(株) パルトソフトウェア(株) (株)バンダイナムコゲームス (株)パンドラ 阪南市 (株)日立テクニカルコミュニケーションズ (株)日立メディコ 兵庫県 枚方市 (株)VSN (株)富士通四国インフォテック フジプレアム(株) (株)プライセン (株)プレミアムエージェンシー (株)プロシップ 岬工業(株) (株)向新 (株)ユー・エス・イー 郵便事業(株) (株)リードオフネット (株)両備システムズ (株)レイカズン 和歌山県 和歌山市

ご案内

システム工学部の近況についてお伝えしているこのリーフレットも、今年で5回目となりました。今後も継続してみなさまにお届けしたいと思いますので住所等に変更のある場合は、同封の用紙に記入して、返信用封筒に入れて返信してください。

また、アンケートが添付されている方は、アンケートの回答も返信用封筒に同封して返信して下さい。

よろしくお願いたします。

■ 修士就職先

アークレイ(株) アイエス情報システム(株) (株)アエックス 浅井謙建築研究所 (株) イー・アンド・イーソリューションズ(株) 生駒市 石原産業(株) 伊藤忠テクノソリューションズ(株) 植良造園 (株)NSC (株)エヌ・ティ・ティ・データ (株)エネゲート エルピーダメモリ(株) (株)オーグス総研 NPO法人尾道空き家再生プロジェクト オムロン(株) カコムス(株) 間工作舎 紀州ファスナー工業(株) キヤノンソフトウェア(株) 京セラミタ(株) (株)京都製作所 クボタシステム開発(株) (株)サイバーリンクス 堺市 (株)サトー (株)サニコン (株)サンレックス (株)ジェイアール西日本テクノス 清水建設(株) 新日鉄ソリューションズ(株) 鈴与シンワート(株) 住金プラント(株) 住商情報システム(株) 住友金属工業(株) (株)精研 セイコーエプソン(株) 星和電機(株) (株)ソニー・コンピュータエンタテインメント ソフトウェア興業(株) ダイキン工業(株) 泰光油脂化学(株) 大成建設(株) 大日本印刷(株) 大八化学工業(株) ダイハツ工業(株) 太洋工業(株) (株)大和総研 (株)タカラインコーポレーション 田中亜鉛鍍金(株) (株)谷沢新生物産 (株)鶴見製作所 ティーオーイー(株) デンカ生研(株) (株)デンソー TOWA(株) DOWAホールディングス(株) 土木管理総合試験所(株) (株)ナガオカ 中野製薬(株) (株)ナフコ 日亜化学工業(株) 日栄化工(株) ニチレキ(株) (株)ニッセイコム ニッセイ情報テクノロジー(株) 日本電産(株) ニューレジストン(株) 任天堂(株) ネットワンシステムズ(株) ノーリツ 鋼機(株) (株)パトライト パナソニックアドバンステクノロジー(株) パナソニックエレクトロニックデバイスジャパン(株) パナソニック環境エンジニアリング(株) パナソニック電工インフォメーションシステムズ(株) 阪南市 (株)阪南ビジネスマシン 東日本旅客鉄道(株) 日立公共システムサービス(株) (株)日立システムアンドサービス (株)日立メディコ フォーサイトシステム(株) 富士通テン(株) (株)富士通ビー・エス・シー フジプレアム(株) 船井電機(株) 本田技研工業(株) 前澤工業(株) マツダ(株) 三菱重工プラント建設(株) 三菱電機(株) 三菱電機エンジニアリング(株) 三菱電機情報ネットワーク(株) 三菱電機特機システム(株) 三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株) 三菱プレジジョン(株) 三ツ星ベルト(株) ミツミ電機(株) (株)宮崎エンジニアリング 宮崎県村中建設(株) 和歌山県立和歌山工業高等学校 和歌山市 和歌山精工工業(株)

■ 博士就職先

国立大学法人大阪大学 学校法人重里学園日本分析化学専門学校 国立大学法人和歌山大学

編集

和歌山大学 システム工学部 技術室

連絡先 ※住所や勤務先の変更連絡はこちらでも受け付けます。

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930

和歌山大学システム工学部

Tel:073-457-8011 E-mail:sotsugyou@ml.sys.wakayama-u.ac.jp